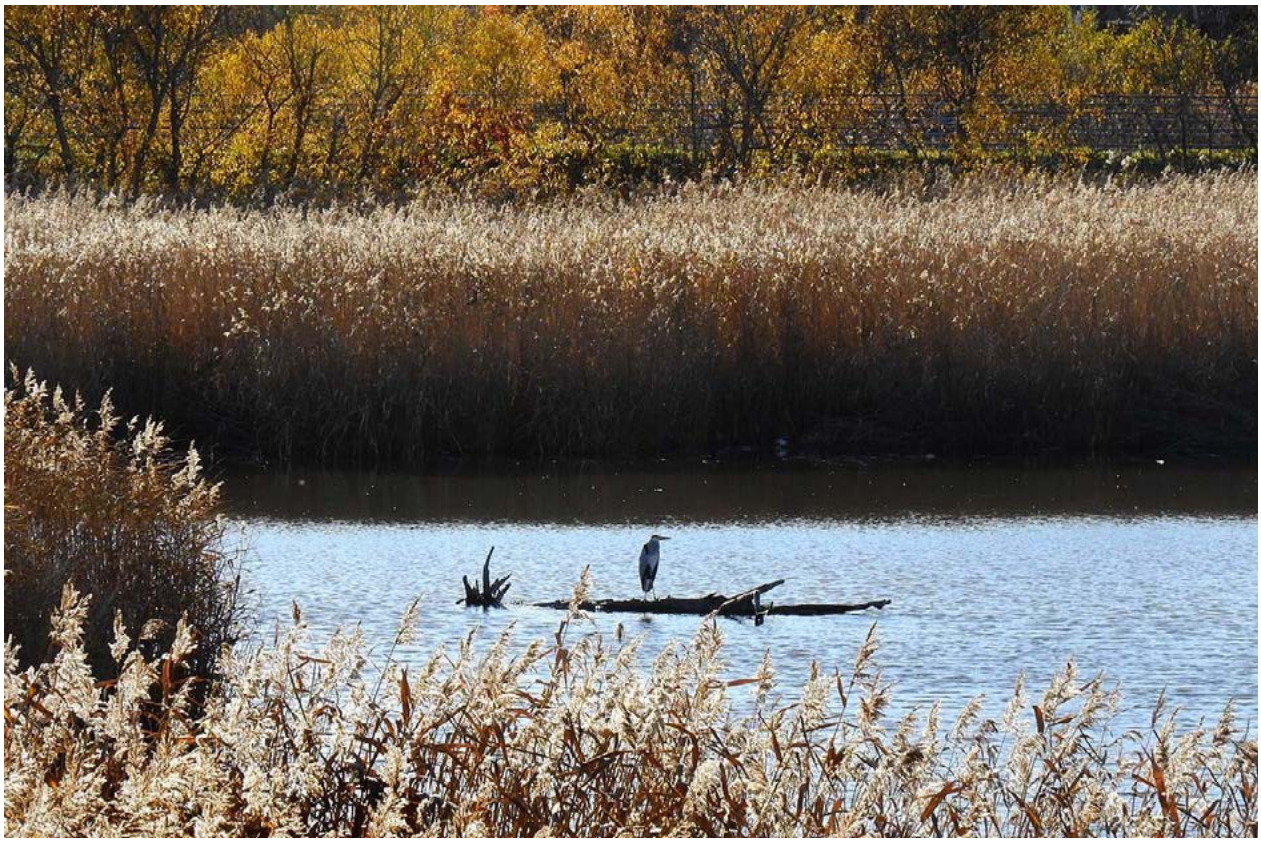
月刊 やちまなこ

2021.10.15 発行

No.287

10 月号

釧路湿原国立公園　塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

ヤチダモの鮮やかな黄葉とともに、紅く染まったヤマブドウの葉がコントラストを描いている。新型コロナ感染対策が解除された釧路湿原は一気に秋の季節に様変わりしてしまった。一雨ごとに季節も進み、標高の高い山に初冠雪の便りが聞かれるようになり、刈取りの終わったデントコーン畑にはタンチョウの親子の姿が見られる。寒暖の差が大きい日もあり、霧に覆われた湿原から雄シカの鳴き声が聞こえ、それに答えるようにタンチョウも鳴いた。陽も高くなり、霧も徐々に消え始めた空にオオハクチョウの飛翔する姿を見た。

塘路フィールドノート【9/15～10/14】

【野鳥】

10月も中旬を迎え、渡り鳥の飛来が本格化して来ました。ここまでのところ、渡り鳥たちの飛来の時期は全体的に例年よりもやや早め。これから10月の下旬にかけて水鳥たちがさらに増え、渡り鳥たちの最盛期を迎えます。

（オオ）ヒシクイ（シラルトロ湖）
昨年よりやや早い飛来でした。湖畔に「ガハハン ガハハン」の声が響き渡っています

オオバン（シラルトロ湖）
北側の水域で群れを作っていました。水鳥の中では割と間近で観察しやすい種の一つ

オカヨシガモ（塘路湖）
塘路湖では過去にあまり記録のないレアなカモ。近くには♀の姿も見られました

エゾビタキ（塘路湖畔）
湖畔に秋を告げる鳥の一つ。ただ、個体数は少なく、見かける機会はかなり稀です

セグロセキレイ（塘路湖畔）
毎年秋になると湖畔に姿を現します。芝生の上をウロウロしている姿をよく見かけます

ノスリ（塘路湖畔）
湖畔に時折姿を見せる猛禽類。雲一つない秋の空を何度も何度も旋回していました

【植物】

日に日に秋が深まるにつれて、湖畔の風景に鮮やかな赤い色が目立ってきました。瑞々しい果実やいい感じに色付いてきた葉が真っ赤な秋を彩ります。ただ、よく見ると、同じ赤でもそれぞれ微妙に色調が違うことに気づきます。

カンボク（シラルトロ湖畔）
艶のある赤い実をたくさんつけていました。秋の澄んだ青空とのコントラストが印象的

コウライテンナンショウ（塘路湖畔）
初夏に咲く花は地味ですが、真っ赤な果実は存在感抜群。秋の草原で異彩を放ちます

ナナカマド（塘路湖畔）
今年もたくさんの実を付けました。秋が深まり、葉もだいぶ赤く色付いてきています

エゾヤマザクラ（塘路湖畔）
いい感じに色付いたところ。ただ、今秋は風が強い日が多く、だいぶ葉が散り気味…

ニシキギ（塘路湖畔）
赤く色付いた葉と果実。湖畔では少数派の樹木ですが、華やかな紅色が目を引きます

ヤマブドウ（蝶の森）
太陽の光を透かす赤い葉。今年は果実も豊作で、センター周辺でもたくさん見られます

【昆虫】

秋と言えば赤トンボの季節。真っ赤な秋に赤トンボたちの存在は欠かせません。体は小さいけれど、抜群の存在感で湖畔の秋を彩ります。元気に飛び交う赤トンボたちの姿を見て、秋の深まりを実感する今日この頃です。

アキアカネ（シラルトロ湖畔）
言わずと知れた赤トンボの代表格。秋が深まってくると、一段と存在感が増してきます

キトンボ（塘路湖畔）
今の時期最も見かける機会が多い赤トンボ。湖岸から草原まで幅広い場所で見られます

ミヤマアカネ（シラルトロ湖畔）
翅の紋様が特徴的なトンボ。周辺では少数派で、この場所以外ではあまり見かけません

◎今がチャンス！

秋は一年のうちでエゾリスと出会える確率が最も高い季節。オニグルミの枝の上でカリカリと音を立てながら大好物の実を食べていたり、芝生の上を走り回っていたりなど、元気いっぱいの姿で楽しませてくれます。

散策道を歩いている時に、周囲からガサゴソと音がしてきたら、近くにエゾリスがいる可能性が高いので、音のする方をよく探して見ましょう。時には散策道のすぐ脇の草むらから突然飛び出して来て、こちらの方が驚いてしまうこともあります。

◎朝霧の塘路湖

【開館時間変更のお知らせ】

11 月 1 日（月）よりセンターの開館時間が下記のとおり変更となります。

○ 10：00 ～ 17：00　→　**10：00 ～ 16：00**（令和 4 年 3 月 31 日まで）

１１月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

初冬のキノコ講座

［日　時］　１１月６日（土）１０時～１２時
［定　員・参加料］　10 名　無料
［開催場所］　塘路湖エコミュージアムセンター

◎問合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

クリスマスリースを作ろう

［日　時］　１１月２０日（土）１３時～１５時
［定　員・参加料］　10 名　500 円（材料費）
［開催場所］　塘路湖エコミュージアムセンター

◎問合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

初冬の植物を見に行こう

［日　時］　１１月１４日（日）１０時～１２時
［定　員・参加料］　１０名　無料
［開催場所］　温根内ビジターセンター

◎申込・問合わせは温根内ビジターセンター（0154-65-2323）まで

クリスマスリースを作ろう

［日　時］　１１月２８日（日）１３時～１５時
［定　員・参加料］　10 名　500 円（材料費）
［開催場所］　温根内ビジターセンター

◎申込・問合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間　9 /15(5:01,17:33). 9/30(5:17,17:06).10/14(5:33,16:42)

～編集後記～

■新型コロナ感染対策のため、臨時休館していましたが、今月 1 日から通常開館しました。

既に紅葉も進み、湖畔歩道上に転がるドングリやオニグルミの実を見ながら歩いていると、上空をくの字に編隊を組んだヒシクイが通過して行きました。最低気温も 0 ℃を記録するようになり、昼間との寒暖差が大きくなって来ました。いよいよ北海道も峠に雪の降る日も近いようです。

釧路湿原国立公園
塘路湖エコミュージアムセンター　あるこっと
〒 088-2264　北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL：015-487-3003　　FAX：015-487-3004
E-mail：emc@hokkai.or.jp
インスタグラム　torokoemc

開館時間：10：00 ～ 17：00
（11 ～ 3 月：16：00 まで）
休館日：毎週水曜日　12 月 29 日～ 1 月 3 日
入館無料